

○取組の概要

- 餌・水・飼養環境にこだわった安心安全な豚肉生産
- 販売店を限定した「やんばる島豚」「琉美豚」など独自ブランドの確立



【取り組むに至った経緯】

- 県内で流通している豚肉の品質に危機感を感じ、高品質で売れるブランド豚肉の生産を指向

【生じた課題への対応方法】

- 畜舎内の悪臭対策への積極的な取組と補助事業を活用した汚水処理対策

【取組の効果】

- 売上高  
3. 3倍(H5年度→H21年度)
- 雇用数  
2. 5倍(H5年度→H21年度)
- 消費者等に対して高品質な餌・水・愛情を込めた飼養状況の情報を積極的に情報発信
- 安心安全にこだわった生産と販売店を限定した取組は、消費者から信頼を獲得
- 経営発展を図るため、直販店・焼肉店を生産部門から独立

【取り組む際に生じた課題】

- 養豚経営を継続するために地元住民に配慮した環境整備が必要

【活用した支援施策(補助事業等)】

- 耕畜連携・資源循環総合対策事業(たい肥舎、浄化処理施設等の整備)(H14 農林水産省)

【今後の展望】

- ブランド豚肉を利用したハム・ソーセージなどの加工品の製造・直販豚肉のほか「我那覇でしか買えない農産品」を検討

成功のポイント！！

- ブランド力維持のために販売店を限定した戦略  
「ここに行けば買える」と消費者に認識をもってもらうように限定販売とそのPRを行った。
- 農場見学など消費者等へ積極的な情報発信  
農場に観光客等を受け入れる設備を整備、ホームページでも紹介。